



2020年5月15日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 C F O 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

**連結子会社における「連結決算への移行に伴う2020年9月期連結業績予想の公表
ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ」お知らせ**

当社の連結子会社である株式会社インティメート・マージャーにおきまして、添付のとおり「連結決算への移行に伴う2020年9月期連結業績予想の公表ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでお知らせいたします。

株式会社インティメート・マージャーの概要や当社の連結業績に与える影響については下記の通りです。

記

1. 株式会社インティメート・マージャーの概要

| | |
|---------------|----------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社インティメート・マージャー |
| (2) 所在地 | 東京都港区六本木三丁目5番27号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 築島 亮次 |
| (4) 事業内容 | DMP (データマネジメントプラットフォーム) 事業 |
| (5) 資本金 | 424 百万円 |

※2020年3月31日時点の情報を記載しております。

2. 連結業績に与える影響

本件の当社連結業績に与える影響につきましては、軽微であります。

以上



2020年5月15日

各位

会社名 株式会社インティメート・マージャー
代表者名 代表取締役 築島 亮次
(コード番号：7072 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 久田 康平
(電話番号：03-5114-6051)

**連結決算への移行に伴う2020年9月期連結業績予想の公表
ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2020年9月期第2四半期から連結決算に移行いたしますので、下記のとおり2020年9月期連結業績予想を公表いたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月14日付「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表いたしました2020年9月期の個別業績予想(以下、「前回予想」といいます。)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結決算への移行について

当社は、2020年3月2日付でクレジットスコア株式会社を連結子会社として設立しております。また同日付でPriv Tech株式会社を持分法適用会社として設立しております。両社につきましては、今後、グループ経営における重要性が高まることが予想されるため、2020年9月期第2四半期決算より連結決算へ移行することといたしました。

2. 2020年9月期 通期連結業績予想の公表

(単位：百万円)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株あたり連結当期純利益 |
|--------|-------|--------|--------|-----------------|--------------|
| 通期業績予想 | 1,969 | 3 | △23 | △24 | 円 銭 △8.82 |

(注)「1株あたり連結当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年3月31日現在の期中平均株式数(四半期累計)を使用しております。

3. 連結業績予想の概要

上記の連結業績予想は、修正後の個別業績予想の数値に、連結子会社となるクレジットスコア株式会社および持分法適用会社となる Priv Tech 株式会社の業績予想を織り込んだ数値となります。

4. 2020年9月期 通期個別業績予想の修正

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|-------|-------|------|-------|----------------|
| 前回予想 (A) | 2,790 | 223 | 223 | 152 | 円 銭 63.38 |
| 今回修正 (B) | 1,968 | 2 | △1 | △2 | △0.89 |
| 増減額 (B-A) | △821 | △220 | △225 | △154 | - |
| 増減率 (%) | △29.4 | △98.6 | - | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (2019年9月期) | 2,188 | 146 | 142 | 96 | 40.18 |

(注)「1株当たり当期純利益」の予想数値の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年3月31日時点の期中平均株式数(四半期累計)を使用しております。

5. 修正理由

年明け以降、国内外で感染が拡大している新型コロナウイルスの影響を鑑み、業績予想を修正することといたしました。

特に、国内広告配信事業における影響が大きく、旅行業やエンターテインメント業等の特定業種における広告予算が大幅に減少しております。この影響は少なくとも2020年9月末までは継続するものと想定しており、2020年9月期第2四半期決算において当社売上の65.4%を占めるマーケティング支援売上における顧客数は前回予想比46.5%減少、単価は同11.2%減少する見込みとなりました。

データマネジメント・アナリティクス売上については、ストック型売上につき、既存顧客への影響は限定的であり、前回予想と概ね相違ない売上高を見込んでおります。

一方で、新規事業に位置付けている Performance DMP については、マーケティング予算削減ニーズの高まりを受け、成果報酬型のマーケティング手法の予算配分が増加傾向にあり、引き続き売上伸長が継続するものと想定しております。また、Select DMP については、営業効率改善ニーズの増加に伴い中長期的には新規獲得の好機となっておりますが、2020年9月末までにリード獲得予算を拡大させる企業は限定的であり、概ね横ばいの売上高を見込んでおります。

これらの結果、今回修正予想における売上高につきましては、前回予想に対して821百万円減少し1,968百万円(前回予想比29.4%減)となることを見込んでおります。

上記の売上減少の影響を踏まえてコスト低減等にも取り組んでおりますが、外部環境の急激な変化が当初の予想を大きく超えており、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても前回予想と乖離する見込みとなりました。今回修正予想における営業利益につきましては、2百万円(前回予想比98.7%減)、経常利益につきましては、△1百万円(前回予想比100.9%減)となることを見込んでおります。

(注)本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上